

## 議会報告会・意見交換会記録（第6回）

1 日 時 平成29年5月16日（火） 午後 7時00分 開会

2 場 所 農村環境改善センター

3 出席議員 12名

議長 （産業経済委員）	関根正明	産業経済副委員長	小嶋正彰
広報広聴委員長	横尾祐子	議員	佐藤栄一
総務文教委員長	榑沢諭	〃	村越洋一
総務文教委員	霜鳥榮之	〃	渡辺幹衛
建設厚生委員 （交通対策特別委員長）	宮澤一照	〃	木浦敏明
建設厚生委員	植木茂	〃	高田保則

4 欠席議員 1名

議員 阿部幸夫

5 市民出席者 3名

6 事務局員 2名

局長 岩澤正明 | 主査 道下啓子

7 件 名

議会報告会・意見交換会

1. 開 会
2. 開会あいさつ
3. 3月定例会の委員会審査報告・質疑
  - (1)総務文教委員会
  - (2)建設厚生委員会
  - (3)産業経済委員会
4. 意見交換 「地域振興と歴史文化について」
5. 閉会あいさつ
6. 閉 会

1. 開 会

○司会（霜鳥榮之） 大変お忙しい中、お疲れところ、今日はお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

司会進行を務めます、総務文教委員の霜鳥榮之でございます。どうぞよろしく願いいたします。立ってますと上から目線という形になりますので、座らして進行させていただきますがよろしく願います。

私たち市議会では、平成27年の3月に制定された議会基本条例に基づきまして、開かれた議会、推進する取り組みとして議会報告会・意見交換会を開催しております。一方的に私たちが開かれたってということじゃなくて市民の皆さんから感じてもらえる、こういうことが必要であるというふうに思っております。今回は15日から17日。昨日は妙高で行いまして、今日は御当地で、明日は妙高高原いう3会場で開催することとなっております。今日は担当議員6名。ちゃんと報告して答弁してくれるっていう方が前に4名おられます。その他に、今日のメンバーとし

て関根議長、そして私霜鳥という6名で、その他にまた次の班の6名の方が応援団ということで入って、しかしあの、議会のほうも議員それぞれその状況を把握する、経験するっていう形の中でほぼ全員が参加ということになっております。その辺でもって一つよろしく願いいたします。それでは最初にですね、担当議員の6名の自己紹介。それぞれにお願いしたいと思います。

○総務文教委員長（樗沢諭） 総務文教委員会の樗沢でございます。よろしくお願いいたします。

○建設厚生委員（植木茂） 建設厚生委員会の植木でございます。よろしくお願いいたします。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 産業経済委員会、小嶋正彰でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○建設厚生委員（宮澤一照） 建設厚生委員会の宮澤でございます。よろしくお願いいたします。

○産業経済委員（関根正明） 産業経済委員会の関根と申します。よろしくお願いいたします。

○司会（霜鳥榮之） それに合わせて私、霜鳥で6名ということになっております。さて、皆さんこの議会報告会・意見交換会につきましては、後日会議録を作成する予定をしております。参加者の皆さんの個人名は公開されませんが、質疑や意見交換における皆さんや議員の発言については会議録としてホームページに公開させていただきますので予め御了承、御承知おきをいただきたいと思います。また、質疑や意見交換で発言される場合には、最初にお住まいと地区名、お名前から発言いただきますようお願いしたいと思います。その際はこちらでもって、マイクを持っていきますので、マイクをとおしてお願いしたいと思います。これは、録音して議事録をつくる関係上ぜひマイクを使ってということになっておりますので御協力をお願いしたいと思います。それから、この会が終わりましたらもうすでに皆さんのお手元に届いていると思いますが、アンケートにご協力をお願いいたします。以上お願いをいたしまして、これから始めさせていただきますが、まずは、議会報告会、意見交換会のはじめに当たりまして、関根議長より御挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

---

## 2. 開会あいさつ

○議長（関根正明） 座らせてまま挨拶させていただきます。こんばんは。ただいま御紹介にあずかりました、妙高市議会議長の関根と申します。本日は大変忙しい中、皆様に議会報告会・意見交換会に御出席いただきまして、誠にありがとうございました。また、日頃より当議会に対し、御指導、御協力をいただいた上、温かく見守っていただきまして、心より御礼を申し上げます。私のほうから議会報告会・意見交換会の開催の趣旨、目的や議会基本条例の制定の理念等を話させていただきます。まず、議会基本条例とは議会と市長、執行機関との関係、議会と市民との関係、そして議員同士の関係をルール化し、議会と議員との役割と責任を定めた議会の憲法、最高規範であります。基本条例の目的の一つに議会や議員の権限の拡大のためではなく、市民自治の拡大を図ることが挙げられております。そのためには、情報の公開、市民参加の確保が重要になってまいります。本日の会もこの一環として、開催させていただいております。まちづくりの政策決定過程への市民の参加が重要でありますので、市民の皆様の貴重な御意見を議会基本条例の前文にあるように最良の妙高市に導くため、議会として政策提言に役立てていく所存であります。ぜひ皆さんの忌憚のない御意見をお聞かせいただければ幸いです。続きまして、3月定例会に上程された29年度予算の概要について紹介させていただきます。平成29年度は総合計画、総合戦略の3年目として目標年次である平成31年度までに残された3年間でこれまで以上に各種施策を着実に実行し、目標達成していかねばならない年であり、これまでの成果を評価分析し、これに対応できる行政経営につくり変えていくための一年目としております。妙高市が進むべき方向性を見極めながら、5つの重点プロジェクトを中心とした実効性の高い施策を展開し、行政経営に関わるすべての皆様との協働により未来を見据えたまちづくりを進めようとしております。その中の方針1といたしまして、若者の希望を叶える支援の充実。方針2といたしまして、国際観光リゾート

と新潟妙高はね馬国体を生かした、交流人口の拡大。方針3としまして、『健康寿命目指せ！元気100歳』運動の推進。方針4といたしまして、地域協働のまちづくりの推進、方針5といたしまして、未来を支える地域基盤の整備を挙げ、予算は一般会計で204億6000万円、国民健康保険特別会計など特別会計で91億1000万円、水道事業会計など公営企業会計では61億8000万円、合計357億6000万円で今年度の事業を推進してまいります。詳細については、後ほど各委員会から報告に代えさせていただきます。また、皆様の心配されている財政状況については、日本経済新聞社の全国都市財政年報によれば、全国790都市、23特別区の平成27年度決算において、当市の義務的経費比率は33.66%で30位、実質収支比率は16.3%で9位、経常収支比率は66.4%で1位となるなど重要な財政指数の面からみても、極めて良好な状態が保たれております。最後に本日お集まりの皆様の御健勝、御活躍を祈念し、あわせて今後の御指導と御協力をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

[拍手]

---

### 3. 3月定例会の委員会審査報告・質疑

○司会（霜鳥榮之） ありがとうございます。それではレジメに沿いまして3月定例会の委員会審査につきまして、報告させていただきます。5月1日発行の議会だよりと、受付で配布いたしました3月定例会等における主な審査項目を資料として報告いたしますのでお手元にご準備をいただきたいと思っております。なお、この主な審査項目のところの後ろの方にページも書いてありますけれども、これは議会報のページでございますので合わせてご覧いただければと思います。

---

#### (1) 総務文教委員会

○司会（霜鳥榮之） それでは、はじめに総務文教委員会からそれぞれ順次お願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○総務文教委員長（樗沢諭） それでは、総務文教委員会の報告をですね、させていただきます。各委員会ともですね、委員会審査については一日ずつ取りまして午前10時から行くと。市長をはじめ担当課長が出席するところいう形でございます。総務文教委員会も10時から午後6時近くまで行いました。この7時間近くをですね、今回は5、6分で報告しろということですから、ちょっと厳しい面もございますけれどもその点も御承知願ひながらお願いしたいと思います。まず、最初に配布した3月定例会等の審査項目とこちらのほうのですね、中からいくつか報告させていただきます。総務課関係につきまして、総務課の①番のですね、地域コミュニティの再生、過疎対策、これも課題でありますけれども人口減少や担い手不足、ライフスタイルの多様化などで地域コミュニティは年々厳しくなっているのが市内の状況だと思います。29年度の地域コミュニティの維持再生については地域課題の解決や地域のこしに向け、高齢化の著しい地域への支援として瑞穂地区、水原地区に地域のこし協力隊を配置するというこういう予算も組んでございます。町内会等の活動支援としてはですね、例年もやってまいりましたが、地域のこしの共助活動支援というものがございます。町内会、地域自治組織などの活動支援として3万から200万円くらいの間の補助金を出してですね、地域の防災及び地域のこしのための活動を支援して行うということでございます。②の防災関係の整備事業ではですね、簡易トイレ増加分76台、防災用のテントを新たに50基つくるということで、今までもテントあったんですけども、今までのテントは外から中が見えるということで、今度は中が見えないようなテントを購入するということでございます。それから、災害用の無人航空機を一台買うということで、価格は約38万円。ドローンです。航空機といってもドローンです。撮影器具だとかですね、災害状況を把握するため

のですね、これはですね、今日も確認しましたら6月頃にですね、市に届くということでございます。1台ということ。④のですね日米合同訓練ということで少し載せました。これは関山とか近隣の地域からもいろいろと要望等がありました。これにつきまして委員のほうから質問しました。関山演習場でオスプレイも参加し日米合同訓練を行ったが、市民の安全、安心ということで、終わったあとも話をする必要あるんじゃないかと、こういう質疑に対して市長に答弁を求めました。市長はオスプレイだからということではないが、要望している中で市街地から関川を旋回するのはいかがなものかと思っていると。4月に北関東防衛局長に会い、総括的な話をしないと認めないと認識していると答弁がありました。その後市長には確認しておりませんが。次に、⑤の企画政策課関係の妙高市の人口減少対策については、平成22年国勢調査では平成17年から妙高高原地域では11%減少だが、妙高地域では10.1%減少、新井地域では4.6%減少と人口減少対策は地方創生推進事業として過年度から多くの議員が取り上げて議論をしております。生涯活躍のまちづくり、南部地域に新たな拠点づくり、市街地の魅力づくり、妙高わかもの会議の開催などを行うことに対して質疑を行い、これに取り組むとこういう話もしてまいりました。このところで細かい数字書いてありますけども本日の意見交換会ですね、こういう内容も皆さんの提案の話をお聞きしたいとこのように考えております。次に、⑩と⑪の生涯学習課の関係においてはですね、委員からスポーツ合宿における主な地域別の利用状況はどのようになっているのかということで、担当課長からは2月末における、28年度ですね、利用総数は3万7593人であると。妙高高原地域は2万6295人、妙高地域は6756人、新井地域は4542人という内容であるという答弁がありました。また、スロヴェニ・グラデッツ市とのスポーツ交流また、交流事業に対してどのようにやってるのかということで、課長のほうからはですね、東京オリンピックに向けた事前のキャンプの誘致に取り組んでいるとオリンピックの事前キャンプだけに終わらせるものだけでなく、これを機にスロベヴェニ・グラデッツ市のスポーツ関係者も妙高市に迎えて交流したいと答弁がありました。次に、議会だよりのほうをですね見ていただきたいと思います。5ページの2段目にですね、あります何点かお話しします。2段目ですね、妙高ゆかりの文化人、歌碑建立の件でございます。これは課長の答弁の中に与謝野晶子がですね妙高を詠った句が80首くらいあると。その中でも池の平の句が多いこともあり、歴史文化基本構想の先行的な取り組みとして、いもり池周辺にですね、歌碑を建立したいとこういう計画で予算は約200万円ということでございます。次その隣の妙高山麓ゆめ基金であります、今回はですね補正予算も組みまして予想した以上にゆめ基金が全国から集まったということで1300万円補正を行いました。28年度の総額では6300万円ほどになるということでございます。2月末時点で2293件の寄附があったと、寄附された方はですね、どこの地域が多いのかとこういう質問に対してですね、東京都が630件、神奈川県が262件、愛知県が192件、大阪府が182件とこういう状況になるということで、29年度は寄附金額7000万円を計上していると、また、寄附への謝礼、返戻を3割くらい見て2100万円を計上しているということでございます。次に6ページをご覧ください。上段に平成30年2月25日から28日に開催される、第73回国民体育大会冬季大会スキー大会、妙高で行われる新潟妙高はね馬国体の関係でございます。これは記載のとおり国体で使用するスキー競技用の計時システムと、クロカン会場整備用の圧雪車1台の購入に関するものでございます。委員会の中の質疑では、スキー競技用のシステムの耐用年数との質問に対して、約10年間は使えるということでありまして。また、圧雪車はですね、総数で3台で対応すると、今回1台の契約金額は3990万円、株式会社橋詰商会から購入するという形でございます。それから、次に本日のテーマになっております、地域振興と歴史文化ということで、当会場の近くに斐太歴史の里もでございます。そういうことで、資料から外れますけども意見交換会とも関連することとございますので、少しお話しさせていただきたいと思っております。私たち議会でも先輩議員も含めながら、歴史文化の重要性については度々質疑をしております。斐太歴史の里、また、旧関山宝蔵院、この街道事業など整備に取り組んできた状況でございます。今回ですね、鮫ヶ尾城がですね、

国指定で4月6日の「城の日」というこの日にですね、続日本100名城に選定されたということで今、盛り上がってきておりますけども、そういうこともございます。今日私も現場見に行ってきましたけども、どのようにして地域にですね、地域振興に結びつけるかが課題と思っています。ちょっと長くなりましたけども以上、総務文教委員会の報告を終わります。

## (2) 建設厚生委員会

○建設厚生委員（植木茂） 皆様お疲れさまでございます。建設厚生委員の植木でございます。私のほうより所管であります建設厚生委員会について、説明をさせていただきたいと思っております。なお、報告時間等がですね各委員約5分くらいということなんで、ちょっとオーバーになるかならないように頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。また、委員会ではですね、補正予算や条例等の審議も行った訳でございますが、時間もございませんので一般会計と特別会計を合わせた平成29年度予算関連のみを報告させていただきたいと思っております。建設厚生委員会の所管は、環境及び健康保険や後期高齢者医療を含む、健康、医療、介護保険、生活保護及び除雪等を含む土木建設分野であり、市民の皆さんの暮らしに直接関わりが深い環境生活課、健康保険課、福祉介護課、建設課を審議する委員会であることをまずご理解いただきたいと思います。本日会場でお配りしました審査項目一覧表の通し番号をご参照ください。限られた時間ですので、その中から選んで御報告をいたします。まず、建設課関連について御報告をさせていただきたいと思っております。除雪対策事業費についての質疑がありました。とりわけ除雪時の出動基準についてであります。昨年の意見交換会でも多くの質問があったように、新潟県や上越市の出動基準が10センチなのに対し、合併後の妙高市ではなぜ15センチにしているのかとの質疑が、今回もなされました。この、出動基準は雪国で暮らす我々にとって重要な案件であることから、昨年の9月議会や12月議会でも質疑を重ねましたが、当局の答弁は一貫して除雪期に実態を検証したいというものでありました。今年度の3月議会では除雪対策事業費が平成28年度の7億7933万6000円に比べ、平成29年度は10億5440万1000円と2億7500万円増の大幅増加となり、より実情に合った予算計上がなされました。皆さん方においては出動時間や除排雪などと合わせまして何か支障が生じることがありましたら、除雪支部長や議員等に声をお寄せいただきたいと思います。また、除雪関連ではほかに、除雪請負業者の保有除雪車台数等の体制について質疑がありました。当局の答弁では、1台あたりの適正な距離数は降雪状況や道路状況が個々に違うので決めにくいところがあるが、モデルをつくり適正な除雪の延長などを検討していくとの答弁がありました。また、除雪後における交差点での苦情であります。国道においても21時以降になると信号機が点滅になる箇所があり、交差点が見ずらくなる危険がある。路肩除雪の点検と対応はどのようになっているのかとの質疑に対し、当局は国道、県道の交差点の除雪処理については、今後の検討課題としたいとの答弁がありました。続いて福祉介護課関連でございます。第6期高齢者福祉計画介護保険事業計画、これは平成27年度から29年度までであり、今年が最終年度となるわけですが、今後の福祉施設整備計画はどうなるのかという質疑に対しまして、当局より第7期高齢者福祉計画介護保険事業計画、平成30年から平成32年までに計画し検討する。また、認知症高齢者グループホーム等の小規模施設については整備する必要があると考えるが、大規模施設はそこまで必要ではないと考えているという答弁がありました。また、この4月に認知症高齢者グループホームみのり妙高が新井地域、小出雲地区の市県営住宅跡地にオープンしましたが、これらの整備拡充は今の制度では介護保険料に直接反映する仕組みになっていることから、現在の第6期における保険料の基準月額が5950円ですが、今後の予想では1000円以上の引き上げを検討するのではないかと心配しております。続いて、健康保険課関連でございますが、けいなん総合病院の入院病床の状況について質疑がありました。当局より、今回50床の休眠は常勤医師数が12名という中で、医師の負担軽減のため休眠させるものである。また、休眠

はいつでも再開できるように医師確保に努め、一日も早く再開したいとの説明を受けているとの答弁がございました。続いて環境生活課関連でございます。生活交通確保対策事業ですが、市営バス運行の契約は委託業者からみると単年度契約では一年でやめてしまうことが懸念され、また、逆に翌年度も契約できるのかなどとの不安が生じているのではないかと質疑がありました。当局より現在市内のバス会社2社と契約しているが、状況を理解してもらっており現状と同じように実施したい。今後、長期契約についても検討するとの答弁がありました。以上、雑駁な報告でございましたが、当委員会における議案は賛成多数で可決しております。これで建設厚生委員会の報告を終わります。

### (3) 産業経済委員会

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 続きまして、産業経済委員会の審査報告について報告させていただきます。小嶋でございます。よろしくお願いいたします。産業経済委員会は農林課、観光商工課、ガス上下水道局の所管事項であります。お手元に平成29年度予算を中心といたしました主な審査項目が配布されておりますが、その中でも主なもの、それからこの地域に関係深いものを中心に報告をさせていただきます。まず、農林課ですが、①の新規就農交付金事業。これは、市議会だよりの7ページ、上から2段目にも要旨が載っております。この事業は国の制度が45歳未満であるため、市独自に55歳まで制度を拡大し農業者の確保、育成に努めるというものであります。委員会では対象の独立自営の解釈についての考え方、あるいは農地の面的集約を条件とすることについての質疑がありました。農林課からは、条件は国の制度を引き継いでいる。面的集約についても農地中間管理機構を通じてなどの条件が合えば対象とするとの答弁でありました。②の都市と農村交流推進事業では、教育体験旅行の実施状況や受け入れ農家の体制、また、2月に教育民泊の説明会があったが、結果や今後の対応について質疑がありました。農林課より現在の受け入れ協力農家は、杉野沢地区で18、矢代地区23、大鹿地区その他を含めて66である。29年の教育体験旅行受入れの予定は、9月に東京の小学校、10月に南魚沼市の小学校、それから奈良県の高校生240名の予定が入っているとのことでありました。また、受け入れ農家の登録、現在66戸でありますけれども、杉野沢、矢代地区以外の原通、水上、斐太、妙高高原地域でも拡大の努力をしているとの答弁でありました。また、教育民泊の受け入れについては、女性の参画が重要であるが、拡大の戦略はどうかとの質疑があり、農家民泊では受け入れ農家の女性の協力が必要だが、毎年受け入れ研修を行っている。その中では、おもてなしなど特別なことではなく、普段どおりの生活を体験するということが基本になっているという答弁でありました。3番目の水田農業経営安定対策ですが、園芸品目の重点10品目について栽培面積に対する助成だけではなく、品目にこだわらず多様な作目の品ぞろえで直接消費者へ販売するなどにも助成すべきでないかと質疑があり、国の支援である産地交付金のほか、複合営農化支援事業など市独自の付け足しを継続しながら、農家経営の安定に支援したいと答弁がありました。また、水稻新品種「新之助」の栽培について、妙高市での経過と試験販売の結果、課題と対策について質疑があり、新之助の栽培は県の直轄事業として取り組んだもので、本市として研究会に登録する会員に対し、指導体制や品質実績を考慮し28年度は原通地区で30アールと27アールの2圃場を農事法人の圃場で栽培した。試験販売は全て県が買い上げたあと、県内、首都圏の百貨店、高級スーパーで販売した。課題は一般販売に向けた知名度の向上と徹底した品質管理が必要であり、研究会を通じた対応をしていくとの答弁でありました。4番の担い手確保対策では農業経営法人化支援事業は米価格低迷などでなかなか進まないが、法人化の意義、目標数、法人への就職支援はどうかとの質疑があり、法人化は農業経営改善に有効な手段であり家計と経営の分離や信用力、税制面で有利なこと、就業条件が整備され担い手確保につながる。また、28年度で1団体、29年度は2団体法人への移行の動きがある。法人化により若い人が雇用されることが望ましいが、市では直接支援はしていないが地域に入って経営に関

する間接的な支援を行っているとの答弁がありました。観光商工課では⑦番、地域活性化事業の買い物促進事業ではプレミアム商品券との違いを質疑したのに対し、観光商工課より従来のプレミアム商品券は使用業種や特定エリアに偏ってしまっていることから、これをやめて商工会のエリアで様々なアイデアに支援することとした。ポイントカードの店舗を増やすとかイベントの充実などの案が出ているとの答弁でした。8番目の観光地魅力創造事業では観光推進協議会、DMOと言いますけども、この体制についてインバウンド、海外からの観光のお客様ですね、この誘客について質疑があり情報の収集や冬だけでなくグリーンシーズンの入込客数など、今まで把握が難しかった各種データを活用した戦略を立てていきたいとの答弁でした。12番の企業立地促進事業では企業誘致の課題と、今後の対応について質疑がありました。平成26年から産業政策官を配置し専門的に誘致事業を行い20社ほどの話があったが、企業振興奨励条例による固定資産税の10年減免制度等があり、20社ほどの話が出ているが、さらに活動を進めていきたい。また、誘致場所については高柳工場団地に3区画がありすぐ対応できるが、その他にも準工業地帯に農地の場所があり、そういった場所で話を進めていると答弁がありました。それから、その他にもですね、道の駅あらい整備事業ということで平成29年度に調査費が計上されております。これに関連いたしまして、道の駅あらい拡充整備基本計画について、現在の道の駅との違いをどう出すのか、インバウンド観光に対応した施設の内容として、郷土食を提供する農家レストランや古民家などの施設整備はどうかなどの質疑があり、現在基本設計の段階だが雪室ステーションでの情報発信や常時英語で周辺案内できる機能へのレベルアップ、日本らしさを感じられる施設も実施計画に反映していきたいとの答弁でした。最後にガス上下水道局関連ですが、18番。平成29年度予算に関連してガス事業の民間委託の方針がでているが、民間への移行はどのような考えかとの質問があり、妙高市の場合は事業規模が小さく民間事業者がやっていく見極めが難しいこと、需要拡大の見通しがいいことなどから難しい状況であるとの答弁がありました。以上、平成29年度予算関係を中心に審査をいたしました。原案どおり可決いたしました。以上で産業経済委員会の報告を終わります。

---

(報告に対する質問)

- 司会(霜鳥榮之) はい、ご苦労様でした。それぞれに、目標としては各委員会5分程度ということであったのですが、まあ、5分ぐらいというとなんか書きになってしまうということで、ちょっと時間が延びましたけど、今の報告に対して、質問等がございましたら、お受けしたいというふうに思います。挙手をいただければ、マイクを運びますので、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。はい、今マイクを届けます。
- 市内男性A ご苦労様です。妙高市〇〇の〇〇です。今日は、大変ご苦労様です。一応勉強してきたつもりなのですが、今、いろいろお話を聞いたことですが、意見等言うよりも、今おっしゃったこと自体は、議会で決められたことの報告というふうに受け取ってよろしいですよ。その上で、私らに質問、どうのこうのと言っても、その質問したとか、意見は反映できる状況になるのでしょうか。皆さん、どちらか、議長さんでも司会者でもいいのですが、その点を最初にお聞きしたいのですが。
- 司会(霜鳥榮之) 今年度の予算の中では決まっていることであります。しかし、それをいかに発展させていくか、っていうのが、これまた、みなさんの声を聴きながら、議会の腕、手腕ということになろうかと思えます。ただ内容によっては、その辺は、はっきり「こう」だとはちょっと言い切れない状況でもございます。
- 市内男性A はい、わかりました。じゃあまた考えてご質問させていただきたいと思っております。意見として、聞いてね、それを反映していただくということであれば、建設的な意見をお願いしたいということで、一旦閉めさせていただきます。
- 司会(霜鳥榮之) はい、ありがとうございます。また、のちほどの意見交換の中でおおいに、いただければと思

ます。ほか、いかがでしょうか。今の説明に対しての質問ということになりますので、説明不足も含めてということになります。いかがでしょうか。特になければ、報告のほうはこれで閉めさせていただきます、次の意見交換会のほうに移らせていただいでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

#### 4. 意見交換 「地域振興と歴史文化について」

○司会（霜鳥榮之） それでは、当会場でのテーマ、私たちはこの議会報告の関係の中で、それぞれに会場ごとにテーマを設定させていただきます、それについての意見交換を、ということで、向かっておりますが、どうしてもこのテーマでなきゃならないということはありませんので、メインはこのテーマにしながら、それにあわせて議会に対しての要望や苦言や諸々も含めた形の中で、ご意見をいただければというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。どこからでも、どんなことでも、ということで。さあ、今日は時間の関係は十二分でございますので、じっくりとできればと思いますので、よろしく願いいたします。ひな壇にいる皆さんは答弁したくって、うずうずしていますので、ぜひ声を出してやってください。この意見交換会そのものにつきましては、皆さんの声を直接聞くことによって、私たちも議会で大いに参考にできるように、構えているところでございますので、ぜひ、ご意見いただきたいと思うところでございます。はい、お願いいたします。

○市内男性A 今、斐太地区協議会に所属しております、役員をさせていただいている関係上、農林課のことになるのでしょうかね、民泊の件ですけど、先ほど説明の中にもあったのですが、ご当地の斐太地区にも民泊の案内が協議会長を通じて、わたしらは、4月の斐太地区の総会のと きも各区長さんには、さらっとこういうことがあるんですよ、というお話だけさせてもらった経緯があります。役員会もこの間ございまして、具体的なことになってきたのですが、矢代さんとか、杉野沢さんのほうは、ベテランみたいな形というお話を聞いているんですけど、私らにとっては初めてのことで、どういうことをしていいのかわからないことがあるんですけど、それに対して、説明会をやるということがあるのでしょうかね、それを一点お聞きしたいんですが。

○司会（霜鳥榮之） じゃあ、担当でお願いいたします。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 農林課では、学校関係のニーズが非常に大きいということで、ぜひ、増やしていきたい。奈良の桜井高校が来るんですけど、240人からということで、まだまだ受入れ農家が足りない状況です。そういう関係で、矢代、斐太だけじゃなく、もっと広げて、妙高市にはいいところがいっぱいあるのだから、そういう方から一緒にやってもらおうと、斐太の方にも説明にあがった、ということです。

教育民泊が小学生だとか、高校生が中心になるんですけど、特別なことではなくて、生活体験なんですよ。今の子どもたちというのは、特に都会の子どもたちは、核家族で、お父さん、お母さんとしか住んでいない。おじいちゃん、おばあちゃんとか、小さい子とかはいない。そんな中で、一歩外に出ると、変なおじいちゃんに声かけられたら、すぐに逃げなさいとか、そういう環境で育っている。やっぱり、人と人とのふれあい、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に生活するというのとはどういうことなのか、家の手伝いをするというのはどういうことなのか、そういうことを実体験させてあげたい、というのが学校側のねらいです。ですから、普通の生活でいいんです。そこら辺のところを農林課でも説明を重ねていながら、広げていきたいと、こういうような委員会の中での答弁がありました。

○市内男性A 具体的に、例えば、参加しようというような申し込みすれば、どういうことをしたらよいかという具体的なアドバイス等々をいただけるということでしょうか。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） そうですね。具体的に手をあげていただいて、その方に対して、最低限、検便といいますが、食事を出しますので、これは体験ですので、その飲食店営業だとか、そういう許可は必要ないのですけ



ど、一応保健所ではそういう指導をしておりますので、食品衛生の講習会、それから検便、そういったものがありますので、まず手を挙げていただいて、それから、具体的な話になろうかと思えます。

○市内男性A ありがとうございます。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 実は、私も教育民泊の受け入れをやっております。今年で3年目になります。その前も、一番最初は青少年自然の家がありますよね、妙高に。そこの依頼で、ミャンマーの子どもたち、中学生の交換留学があったのですが、その中の一日を日本の生活体験を受け入れてくれ、というのがありまして、そういうのを始めました。言葉はまるっきり通じなかったですけども、二日も一緒に生活するなかです、最後は涙、涙で日本のお母さん、お父さん本当にありがとうということで、今でもメールでやり取りしてますけども、そんなのがあります、それから東京の小学校の受け入れだとか、今大学生、東京農大の学生さんの農業体験の受け入れだとかです、上越看護大の学生さんのお年寄りの世帯の実態を知りたいというようなことですね、受け入れも地域として矢代地区としてですね、取り組んでおります。今、20件ほどありますけども、やっぱり最初は「おんなしよ大変だね」とかです、そういう声があるんですが、いざやってみるとですとですね、普段のとおりでいいわけですから、かえって女性の方のほうが作ったものを食べてもらって、本当に喜んでもらった。郷土食ですよ。煮付けだとかです、せいぜい笹寿司くらいなものです。そういったものを非常に喜んでもらったということで、今、女性の皆さんのほうが一生懸命で、自主的に村越シェフから来ていただいてですね、料理の勉強会をやったりそんなことも進めております。ですから、是非女性の協力がどうしても必要ですので、そういった方々にですねどういうふうにしたらいいか話していくのが一番いいのかな。喜んでもらえて、なおかつお金ももらえるという具合になってます。農林水産省でも農泊って言って、これは新しい農業ビジネスとして育てていきたいということで、4月にも農政局長さん来られまして、懇談もさせていただきましたけども、力入れておりますのでますますこれから農業の魅力発展、農村の活性化という意味ではですね、非常に重要な施策になってくるんじゃないかなというふうに思っております。すみません、ちょっと長くなりました。

○市内男性A ありがとうございます。もう一点、今度は違った質問なんですけども、先ほど除雪に対してのお話がありましたけども、私もちょっと勉強不足で何センチになったら除雪車が出動するかってことで、10センチとか、15センチと数字があったわけですけども、これは何時時点の積雪がそうなるか教えていただきたいんですが。

○司会（霜鳥榮之） 建設厚生委員の植木委員。

○市内男性A 例えば夜の8時の時点ではゼロで、9時になって一時間で15センチ例えば溜まったら、その時点が出るということ。

○建設厚生委員（植木茂） 先ほど私、報告いたしましたように、妙高市の場合は先ほどお話したように15センチということで、県とか上越につきましては10センチで出動するという形になってるんですが、時間につきましてはですね朝の通勤、通学前に除雪するというのが一つの基準になっております。委員会の中でもその間に早い時間にですね、除雪しても通学の時にですね雪が多くてまた車も出れないというような状況あるということなんで、現地をパトロールしながらですね、その辺については対応していきたいという話は聞いております。妙高市の場合15センチなんです、近年の雪質を見ますとですね、非常に雪質も重くなっていますんで15センチだから大丈夫ということじゃなくて、10センチくらいでないとはですね、ちょっと車も出入りも大変だということもありますんで、先ほど報告させてもらいましたけども、10センチにですね、なるべく妙高市もしてほしいという要望を常々しているところでございます。

○市内男性A ありがとうございます。それに付随することなんですけども、除雪していただいたのは大変ありがたいんで

すが、それによって土手が崩れたとか、ブロックを壊したとかそういうのは往々にしてあるんですけども、西乙吉の区長も居るんですけども、区長を通してお願いして直していただく。目に見えてブロックが壊れれば来て直すのはわかるんですけども、土手なんかは具体的に言いますとほんのちょっと土持って来て盛って、ぺんぺんぺんとスコップかなんかで叩いたくらいのが非常に今残っております。そこら辺のほうはまたあれでしょうかね。業者が一通りぐるっと回って、砂利を拾ったり直したのを区長さんと例えば立ち会ってこれでいいか、悪いかという確認事項はしてらっしゃいますか。

○建設厚生委員（植木茂） 除雪もそうですし、歩道除雪もですね、非常に壁が出来て大変危ないということもあります、今〇〇さんから質問されましたようにですね、春先になってですね、こういうような状況があれば、今ほど区長さんをとおして行政のほう、また、我々議員でもよろしいですんで、話していただきまして、現場を見ていただいて対応するというような形を今までもとってると思うんで、それがなかなか進まなかったら、再度当局のほうにその旨を申してですね、なるべく早い時期に考えてやるようにしているところでございます。

○市内男性A 区長からもやっているということで出たんで、区長さんと業者さんとの間でも納得いったとしても、地権者がこれじゃだめだといった時、区長さんを通して再度直していただけるかどうかわからないけども、要望としてお願いすることはできますかね。

○建設厚生委員（植木茂） それについては、我々議員ではあれなんで、今の質問についてはですね、当局のほうにまた話をしておきますし、また、現状に戻してほしいと言うのですね、戻らなければまた皆さん方からしてみれば困る面も非常にあると思いますんで当局のほうに厳しくお願いするとともにですね要望していきたいと思っています。

○司会（霜鳥榮之） 除雪の関係になると地域の区長さん方、除雪支部長の位置付けで命を受けてますよね。除雪支部長さんの権限というのは、そこはそこで働くわけでございますんで、除雪やってる業者の関係のところでは、損傷与えたりした場合には保険対応で直すという位置づけがあるわけでございますんで、そこは報告と義務とという形で、行政との絡みの中でもってコントロールしていただくという形になってますから遠慮しないで、きちんと届け出ていただければということだと思います。

ほかにいかがでしょうか。はい、お願いします。

○市内男性B 同じく〇〇地区の〇〇と申します。よろしく申し上げます。話は変わりますが、先ほど道の駅あらいの拡張についてちょっとお話があったようなんですけども、発端はどういうところからくるのかなということで、概略は道の駅の東側を拡張するというで話は聞いておるんですけども、発端と言いますかね、今の道の駅の状況では、お客さんを捌ききれないということがあったのか、原因があってそういうことにしましょうということで進めておられるんでしょうけども、具体的に方針としてこれから今年度調査費が付くということなんで、具体的にどういう調査をされるのか、わかる範囲でちょっと……。我々もお客さんがこちらのほうへ来れば期待してるとこなんで、どういう方向性に進んでいるのかだけでも教えていただければと思います。

○司会（霜鳥榮之） これはじゃあ誰が……。

〔「私のほうから先に」と呼ぶ者あり〕

○司会（霜鳥榮之） じゃあどうぞ。

○総務文教委員長（樗沢諭） 総文も皆さんもかかわることなんで先にですね、総文の担当は防災とかそういうことで担当なんで、ここのですね、皆さんご覧になったかと思いますが、防災のですね防災広場をですね、大きな面積を取るということで、芝生を置いたり、東屋、炊事場をつくって、いざというときのために、市民の人たちがそこへ集まって何日か生活できるというような体制をつくると、これがメインなんです。道の駅というのは商店がい

っぱいありますけども、本当のメインは国土交通省が管理してまして、交通の拠点ということでございます。そういう中ですね、植木議員担当の建設省の担当のトラックステーションも3月でなくなりました。閉鎖しました。そういうことがありまして、今度はですねその代わりという形で、反対側ですね、大きな駐車場も後ほどつくるということになりました。そういう中ですね、併設して雪室ステーションだとか駐車場だとかですね、それからまた、小嶋議員からお話しあります、農業関係もですね作るということでもあります。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 今の道の駅はですね、平成11年8月27日正式に道の駅になっております。年間300万人の利用があるということで、位置的にもですね、北陸と信越を結ぶちょうどいい所にあると。また国立公園妙高が認定されたこと。ロッテアライリゾートがこれから開業すると、観光客の増加が期待されると、こういったところから広域観光の連携、観光振興、この地域の基幹産業の農業振興の拠点として今後整備をしていきたいということです。3月にですね、道の駅あらい拡充整備基本計画というのがインターネットで公表されておりました。これは、パブリックコメント募集した時のやつですが、これに詳細が、基本的な考えが出ております。その中ではですね基本コンセプトとして、テーマは「食・農×観光×防災 妙高の活力と魅力を高め、伝え、感じられる地方創生の拠点づくり」。これが基本的なコンセプトということです。その中で、食、農、観光の妙高ブランドを創造する。それから、自然、雪、歴史、文化など地域の魅力を伝え感じられる。国内外から多くの人たちが訪れ、憩い、交流の場が生まれる。そういう道の駅。それから安心して災害の時には利用できるような、そういう機能を付け加える。こういうような基本的なコンセプトであります。話ししているとばか長くなっちゃうんですけども。そういった中ですね、この地域の農業をきちっとアピールできるような、今の時代農業は生産して終わりじゃなくてですね、消費者に努力して一生懸命いいものをつくったってことを理解していただけるような、そういうことが重要であるということで農家レストランですとかですね、雪室をつくって、そこでさらに付加価値を付けて売るといふようなそういうことをやっていきたい。合わせて観光施設としてですね、外国人からも利用していただいて、日本らしさが見えるようなそういうものを作っていきたい。こういうようなことを今の段階では計画としてやっていきたい。こういうようなことでもございました。

○司会（霜鳥榮之） よろしいですか。交通対策特別委員会っていうのがありまして、そこでも審議しているんですが、そちらの関係は報告せんでいいですか。いいですか。

○交通対策特別委員長（宮澤一照） 聞いてないんであれなんですけれども、しゃべりたくてうずうずしていたんですけども、それはないんですけども。交通対策特別委員会で、ETCの24時間化っていうことで、それを取り組んでいることの先日調査、研究っていうことで視察に行っていました。その後については、まだ詳細とかですね、まだ結果も出てないんですけども、そのうち出るんじゃないかなと思いますけれども、視察に行ってきたというところでございます。

○司会（霜鳥榮之） はい、今それぞれに説明をしていただきましたけれども、スケジュール等もおおむねのところ議長の方からちょっと話していただきますので、お願いします。

○議長（関根正明） 済みません、先ほどスケジュール等という形もありましたので、今年度は測量と実施設計までという形で、予算的には8914万9000円という形で測量、実施設計、地質調査等を行う予定となっております。来年度が造成工事、31年度に建築工事と、オープン予定と今のところそういう予定となっております。

○司会（霜鳥榮之） 大丈夫ですか。

○市内男性B ありがとうございます。ついででいいですか。全国的にこのような道の駅どこにありますでしょうか。

〔「両側にあるとか」と呼ぶ者あり〕

○市内男性B いえ、今防災から全部含めて日本をPRするという形をこういう。

○司会（霜鳥榮之） このような計画で進めている、ほかにそういうものがあるかどうかということですね。誰か答えてくれますか。

○総務文教委員長（樗沢 諭） うちの市長ね、特徴ある市長ですから、要するに予算を持ってくるにはどうするかということを考えてですね、予算持つてくるには防災拠点。妙高高原体育館もそうですけれども、防災のあれでもって、お金もらおうと。そういう観点から、これが大きな敷地になっていると思うんで。防災広場がですね、9400 平方メートルと。駐車場がですね、8000 平方メートルということですから、この通りの上越地方の大災害あったときの重要な拠点になるということなんですね。ですから、こういう形ですね、国土交通省から道の駅に全国で 35 カ所選定されたわけですけど、なかなかこういうのはまれではないかなと。物販を中心とした、それを主としたものにプラスこういう形でやるのは、妙高市が特徴的なあれじゃないかなと私は捉えていますけど。

○司会（霜鳥榮之） よろしいでしょうか。

○市内男性 B ありがとうございます。

○司会（霜鳥榮之） はい、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

○市内男性 C ○○の○○です。正面みて「歴史」っていう字、目に入っちゃったもんで、考えてたんですけども、私もこの地元生まれまして、子どもの頃から鮫ヶ尾城がそこにあるのは当たり前という環境で育ってきました。で先ほどのような民泊とか交流人口云々の話もあったりしますけれども、来られた方に対して、地元の人がいろんな知識をきちんと伝えられるということがお迎えする上でも大事なおもてなしじゃないかなというふうには考えています。自分で振り返っても、過去にそういったこと教えてもらったことがあるんでしょうけども、何せ物覚えのいいほうですので、すっかり忘れちゃっている。というふうなことで、またこれから先に向かっても、そういった情報を随時、提供するような場があればなあと思うんですけどもその辺どんな風な話あるのでしょうか。

○市内男性 C それでは、担当の方をお願いします。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） まさにですね、そういう郷土のよさっていうのを見直すのが交流人口増大のいいところではないかなというふうに思います。そういう面では矢代より斐太の方が恵まれているなと私は思っております。特にですね、外国の方なんかは喜ぶと思いますね。日本の城なんていうのはね。私、今年に入って、家に泊まった方、1月に台湾の方、2月にマレーシアの方、台湾の方。4月に香港と台湾の方、泊まっていたいております。4月は高田の花見に行きたいっていうんですよね。だから、地域のこういうものがあるよ、こういう魅力があるんだよというのをアピールするというのはね、私らの知らない部分でも高田の花見にしても、やっぱり私らと見方が違いますし、こういういいところがあったのかというなのはですね、ありますのでぜひそういう地域の魅力の掘り起しとあわせて交流人口を増大していく、地域の活性化に結びつけていくという方向付けされるとですね、非常にいいものになるんじゃないかな。斐太地区にはそういう素材がいっぱいあるんじゃないかな、というふうに思っています。

○司会（霜鳥榮之） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

○市内男性 A ○○です。何人もいないので度々同じ者で申し訳ないのですが、妙高市議会だよりの中で一般質問の中に山川議員様が質問したことに、鮫ヶ尾城や上杉景虎終焉地の看板等という質問がありましたが、最終的な観光商工課長のお話の最後の方では、新たな看板等の整備は考えていないと、いうことがここに載っておりますが、パンフレット等々はいろいろ道の駅等とかにあるの、私も知っているんですが、私も道の駅に時々行くと「かわら亭」だとか「鮫ヶ尾城」はどこにあるんですかというふうに聞かれて、私なりに道を説明するんですが、ちょっと入り組んでいて、分かりにくい部分が多いと私自身は思っております。それで、私も余計なことで「私行くから、後からついてきない。」ということで車で5分か10分で「かわら亭」だとか、私、乙吉にいるんで「勝福寺」だとか

「鮫ヶ尾城の県民休養地」入り口まで案内したり、斐太神社の入り口まで連れて行ってやったことが何回もあるんですが、ここには「新たな看板の整備は考えていない」という答弁なっておるんですが、きょうはたまたま「地域振興と歴史文化について」ということなんで、ぜひここでいらっしゃる議員の皆様で、どういうふうな形にしていかわからないですけども、立て看板とか案内板をぜひ設置していただくように働きかけていただきたくて思うのですが、よろしく願いいたします。

○司会（霜鳥榮之） 担当でお願いします。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） 観光面からそういう看板が必要だと私もそう思います。ただ、城跡だとか、その下の古墳群って言いますかね、それから遺跡、あつこら辺がですね、非常に文化財としての規制が非常に厳しいところがありまして、そうやたらにかまえないっていうのがね、実はあります。そういったところから、こういうその観光商工課長の回答になったのだらうと思うんですけども、それはそれとしてもですね、やはり今御指摘のような点についてはですね、やっぱり、宝の持ち腐れという言い方おかしいかもしれませんが、せっかくいいものがありますので、引き続きですねこういった要望はしていかなければいけないんじゃないかなと。委員会等でも取り上げていきたい、いうふうに思っております。

○司会（霜鳥榮之） はい、よろしいですか。

○市内男性A よろしくないです。

○司会（霜鳥榮之） よろしくないわね。

○市内男性A その場所に、そこにね、看板とかなんかつくるということではなくて、例えばバイパスとか斐太線沿いの道順矢印とか、そういう類のことはできないのでしょうかね。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） それは可能なような気がしますけどね。今、即答できないんで申し訳ないですけども。

○市内男性A その場所の所に「ここに堅穴住居がある。」とかそういうんじゃなくて、バイパスで来たら、乙吉交差点からこっちへ行くと鮫ヶ尾城、県民休養地の方に行くんですよとかね、そういう風なことをお願いしているんで、ぜひお願いいたします。

○産業経済副委員長（小嶋正彰） そういう要望があったということで取り上げていきたいと思います。

○司会（霜鳥榮之） ○○さん、私の方から提案なんですけども、今、看板つけてどうのこうのというの、役所主導でやっているんですよ。役所の主導で看板つけたり、いろいろやったり、答弁したりとかしているんですよ。地元の皆さんとのそういう話し合いの場っていうのは、恐らくなかったのではないのかなという風に思うんですね。ぜひ、協議会の方でそういう話し合いの場を、担当課を呼んで現地で話し合いをしていただくのが一番いいんじゃないのかなというふうに、私は思いますので、議員の方も議会としては頑張りますけども、地元の皆さんも直接的に一番よくわかるのは地元地域の皆さんでございますので、地域の協議会の皆さんと役所の担当課とぜひそういう膝を交えた話し合いをやっていただければありがたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○市内男性A 前向きに検討させていただきます。

○司会（霜鳥榮之） ほかにいかがでしょうか。特には、よろしいでしょうか。今日は、皆さんからいろいろと内容の濃い意見交換をさせていただきまして、本当にありがとうございました。皆さんからいただいた意見は、今後生かしていきたいし、また大いに参考にさせて議会発展のために頑張っていきたいというふうに思っております。時間の方はまだ若干あるわけでございますけども、この辺でこの会を終了させていただきたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

## 5. 閉会あいさつ

○司会（霜鳥榮之） それでは、閉会にあたりまして広報広聴委員会、横尾委員長よりごあいさつをお願いしたいと思います。

○広報広聴委員長（横尾祐子） 本日は平日のまた、お仕事のしたお疲れの中、妙高市議会、議会報告会・意見交換会に御参集いただきまして誠にありがとうございました。開かれた議会ということで皆様の声、地域の声を今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。今日もテーマとして、地域振興と歴史文化ということで、皆さん全員の方からとてもいい質問いただきまして、私たちもとても勉強になりました。今後はこの議会活動に議員一丸となって努力する所存でございます。御理解をいただき今後も議会の御理解を賜りますよう、閉会のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

[拍手]

---

## 6. 閉会

○司会（霜鳥榮之） 大変ありがとうございました。以上を持ちまして、議会報告会、意見交換会を閉会させていただきます。なお、お帰りの際は事故等十分御注意をお願いしたいと思います。なお、大変お手数ではございますが、アンケートへの御協力を宜しくお願い申し上げます。用紙はそのまま机の上に置いてお帰りいただければと思いますので御協力をお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。

閉会 午後 8時15分